

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2022年8月20日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名

【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 7人（内訳：当事者 0名、家族 6名、専門職 1名）

2回目 5人（内訳：当事者 2名、家族 2名、専門職 1名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

1 回目の会は家族だけの会になりました。奥様を介護している若旦那が数人初めて参加されました。普段自分の配偶者の介護に無我夢中の日々ですが、他の介護家族のお話しや、在宅介護で福祉サービスを駆使している方のお話しに釘付けでした。2 回目の会は音楽好きな当事者の持参したビートルズを聞きながら、当事者二人のこれまでの仕事のことを、懐かしく思い出しながらお話ししました。あっという間の1時間でした。

5. 所感

奥様が当事者、介護者が男性の場合は、家庭の中の家事からあらゆることまで難しいことが沢山出現してきます。家庭の買い物をするのは女性が多い為、衣服や下着の購入の判断も経験したことがない男性も多く、介護の他に男性自身の仕事・家事、家の中のこと…困惑することが多いと言われています。県外では男性介護者の集いもあり、沖縄でも必要だと感じました。先月の屋外イベント時から、法人アガペ会から理学療法士のMさんがカフェの運営に協力頂く事となりました。一人では難しい交流会の写真撮影して頂いたり…頼もしい存在です。お土産は男性ケアマネージャー作、ガトーショコラケーキ。“しっとり”して美味しい(^_^)♪。



以上